

講義名	基礎演習B（再履修）		
科目区分	基礎演習		
担当教員	森津 秀夫		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 2時限		
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2014年度 サービス産業学部 観光学科 / 2014年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2014年度 商学部 商学科 / 2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科 / 2013年度 サービス産業学部 観光学科 / 2013年度 総合政策学部 総合政策学科 / 2013年度 商学部 商学科 / 2012年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	22120

主題と概要

「読み、書き」等に関する基礎教育が目的である。所与の課題について各自が読み、書き、要約し、その結果を演習生・教員の前で報告することを基本とする。さらに、可能な限り報告内容に関する質疑応答を行うこととする。これに加え、社会人として必須である新聞を読む習慣を身につけることも目的とする。新鮮な情報の宝庫である新聞を読むことに抵抗を感じることなく、新聞が身近なものになることを目指す。

到達目標

大学の講義を受講するために必要な「読み、書き」等の基礎的能力が身につくこと、日常的に新聞を読むようになることを目標とする。

提出課題

新聞記事の音読、書き取り、キーワードの抽出、記事の要約、タイトルの検討、メモ取り及びメモからの記事概要の組み立て等を課題とし、講義時間中に行ってもらいます。さらに、記事内容に関する自分の意見を発表し、互いに意見を交わしてもらいます。

評価の基準

出席状況と授業への参加度・受講態度で平常点をつける。これと、課題等の提出物に関する評価、最終課題の評価を総合する。

履修にあたっての注意・助言他

毎回、出欠の確認を行います。テキストとなる日本経済新聞の当日（新聞休刊日の場合はあらかじめ指示します。）の朝刊を持参してください。また、意味を知らない言葉を調べたり、読み方のわからない漢字を調べたりするために辞書の持参が必要です。

教科書

教科書なし。

プリント資料及び参考文献

講義当日の日本経済新聞の朝刊をテキストとする。

授業計画

- 第1回 基礎演習Bの進め方
- 第2回 新聞の読み方
- 第3回 新聞の音読、書き取り
- 第4回 新聞の音読、書き取り
- 第5回 新聞の音読、キーワードの抽出
- 第6回 新聞の音読、キーワードの抽出
- 第7回 新聞の音読、記事の要約
- 第8回 新聞の音読、記事の要約
- 第9回 新聞の音読、タイトルの検討
- 第10回 新聞の音読、タイトルの検討
- 第11回 新聞の音読、メモ取り
- 第12回 新聞の音読、メモ取り
- 第13回 新聞の音読、記事内容に関する意見交換
- 第14回 新聞の音読、記事内容に関する意見交換
- 第15回 新聞の音読、基礎演習Bのまとめ

予習・復習

普段から新聞記事には目を通しておくこと。講義内容に関する事後確認とあわせ、毎回4時間程度をかけることを目安とする。

備考